

【学校教育目標】 豊かな心を持ち、夢の実現に向かって自律的に活動する久里の子の育成

～ 元気・笑顔・思いやりがあふれる学校 ～



# 久里の子

唐津市立久里小学校 学校だより

R 8年 3月23日号

文責： 渡辺 謙 学校HP →



## 久里小学校卒業式 第125回卒業証書授与式



3月17日(火)。春の澄み切った天気の中、唐津市立久里小学校第125回卒業証書授与式を行いました。

今年度の卒業生が入学するころは、まだコロナ禍にあり、マスクやパーテーションが手放せない時期でした。それから6年が経ち、日常が戻り、来賓の皆様を迎え、在校生からの祝福もあつての卒業式ができたことを本当にうれしく思いました。

卒業生56名一人ひとりに卒業証書を手渡し、卒業生は笑顔で小学校を去っていきました。卒業生を見送る4・5年生の態度も大変立派で、呼びかけや歌声で卒業式に花を添えてくれました。また、準備や後片付けにも一生懸命力を発揮し、2週間後にはそれぞれ進級して、最高学年、高学年としての心構えが育ってきているように感じました。

56名の卒業生ひとりひとりのこれからの人生が実りあるものとなることを心より願っております。



### タブレットを使った学習について



GIGA スクール構想が、コロナによって前倒しされ、唐津市においても令和2年度から一人一台端末(タブレット)が子供たちに貸与され、学習で活用していくようになりました。これにより、動画や写真などの映像を一人ひとりが確認しながら学習を進めたり、ウェブ上の問題を子供たちが進度に合わせて解いたり、教師側から配信される問題に取り組んだり、自分の課題を調べたりプレゼンテーションソフトでまとめたりするような学習が展開できるようになりました。

これは、個別最適化された学習を進めるにあたっては、とても便利なことでした。今後、タブレットを使った学びは、どんどん進化していくと思われていますが、その一つとして6年生における全国学習状況調査が、令和9年度よりCBT化される見通しとなっています。CBTとは、Computer Based Testingの略で、端末を使ってテストに回答する方法のことです。問題がどのような形で出題されるかは、まだわかっていませんが、これまでのような記述式での回答となると、ローマ字入力やフリック入力を使っても記述が求められる可能性があります。子供たちにとって、スマホやタブレットは身近なものです。タッチパネル上での文字入力だけでなく、キーボードを使ってある程度の速さで文字を入力する能力も必要とされるかもしれません。時々、タブレットを使って文字入力のゲームをしている子供たちも見かけます。そのような遊びを通して文字を入力する練習を進める必要性を感じているところです。

